

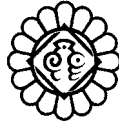
会報発行にあたり



鳥取市自治連合会
会長 森西辰良

鳥取市自治連合会は、現在三四地区組織の下に五三三町内会が結集し、住民自

創刊号



自治連だより

鳥取市自治連合会事務局／鳥取市役所協働推進課内
〒680-8571 鳥取市尚徳町116
TEL (0857) 20-3149/FAX (0857) 21-1594
http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/tottori-jichiren

治の精神に基づき、それぞれの地域で日常的に発生する様々な問題の解決も含めて、住民福利の増進と、住んで良かったと言える「明るい安心のまちづくり」に取り組んでいるところです。

最近の経済、社会情勢の変化に伴い、生活も多様化し、人々の価値観も多変化する

ており、地域の在り方も多種多様となっております。とりわけ、地域の疎遠化が憂慮されております。町内会（自治会）の運営も高齢化が進み、困難の度を加えています。最近では、「勝ち組」「負け組」等社会の二極分化の様相を呈しており、弱者に対し攻撃的な事件も起っております。そのことが小学生などの弱者をねらった殺人へと繋がっているように思います。大きく強い者だけが生き残れる社会であってはならないと思います。人と人が互いに手を取り合って、共に生きる社会を作らねばならないと思います。

これからの町内会（自治会）に対して求められている課題は、大きくなることはあっても小さくはならないと思います。住民一人一人が自らの課題に取り組んでこそ、真の地域の課題解決の道が見つかるものと確信しております。

今後益々互いの連繋を強め、情報を交換しながら、鳥取市が掲げる第八次総合計画の「夢があり誇りのもてる二〇万都市」の実現に向け、一歩ずつ会員の皆さんと共に進みたいものです。

日進地区

ほっとライト事業報告 (地域安全対策事業)

日進地区
会長 横山 護

昨年五月二十三日、日進地区ほっとライトの発足をしまして、早くも一年とな

りました。

日進地区では、地域住民のボランティア意識にもとづく自発的な活動として、住民漏れ無くボランティア登録して頂く事を目標にしました。各自治会、PTA、各種団体等に対して趣意書を回して登録者にはシールを渡す事になっています。日進地区ほっとライト各名入りのタスキ、ジャンパー、メッシュ式ジャンパー、パトロール用の青色回転灯等を備えました。また、全校児童に防犯ブザーを渡し、ランドセルに取り付けてなにかあったらブザーを鳴らすことを徹底しました。

平成十八年度の新入生に防犯ブザーを渡す贈呈式を日進小学校にて、戸田PTA会長に渡ししました（写真の通り）。

交通安全パトロール広報車により、小学校生徒の下校時にパトロールと同時に広報するよう、広く地区内にボランティア参加をPRしました。



平成十八年度の日進地区ほっとライトの事業としては、次の通り計画しています。
(1) 日進小学校児童、保護者、地区住民

を対象としたボランティア登録の募集と防犯研修教室の実施

(2) 地域パトロール ほっとライト会員全員による地域巡回

(3) 日進小学校新入生児童への防犯ブザーの贈呈

(4) 日進小学校・PTAとの協力連携しての各種事業への取組

(5) 通学路表紙板の設置と製作

(6) 地域安全マップづくり

(7) 地域ボランティア登録者の活動支援

(8) 広報活動

☆ほっとライト概要説明のチラシ（全戸）配布

☆小学校地区行事等の当事業のPR

☆ミニパトロール車に、ほっとライトPRの事業協力、マグネット

☆ミニパトロール車にほっとライトPRの事業協力、マグネットシールの取付け、広報宣伝

☆子どもを標的とした犯罪が相次ぐ中、地域を挙げて弱者を犯罪から守ろうとするボランティア組織を設立し、安心安全なまちづくりを目指す。ボランティア登録による様々な地域見守り活動、登録シールによる啓発活動を行うほか、街頭安全マップ、防犯ブザー貸出し等の事業も行う。又基金を設置し、事業の継続性を図る。かなり大きな事業でもあり

継続が第一ですので、地区内に温度差がないように常に取り組みの点検を行っています。

広報委員会の設立

活動方針

鳥取市自治連合会の一層の充実と発展を期して、広報委員会を設置いたしました。「広報」とは「広く知らせる」という意味ですが、自治連合会が町内会（区）の組織体であることから、会員並びに町内会（区）相互の連携を密にし協働していくことは、住民自治の充実・発展に繋がるものと考えています。

さらに、このような住民組織に変革させる手立てとしても、情報の交換や提供は必須の要件と考えています。さらなるご協力・ご支援を切にお願いいたします。

広報委員会の組織

◎池原 範雄（松保）

○大久保良隆（湖山西）

★広報紙部会

○池原 範雄（松保）

横山 護（日進）

中村 徹也（賀露）

大西 隆秀（豊美）

田村 勲男（千代水）

☆活動内容

①方針・目的に基づく資料の収集

②編集

③印刷・製本

④広報紙の発行（七月・一月）

⑤広報紙の頒布

★ホームページ部会

○大久保良隆（湖山西）

福山 宣明（面影）

中山 勇（吉岡）

渡邊勘治郎（米里）

岡本 義和（若葉台）

☆活動内容

①情報の収集

②情報の掲載・提供

③利用促進

④操作技術への対応

⑤その他

山王団地町内会の自治活動

山王団地町内会

山王団地町内会

会長 竹内 房男

当自治会員は環境に対する関心が強く、昨今の自治会活動をみましても、「湖山池ピオトープ」の会における湖山池再生への取り組みは、テレビ・新聞等のマスコミにも取り上げられました。この十年間、鳥取大学・鳥取県・鳥取市のご協力とご支援を得ながら、自らの手で「カワセミの飛来する池」を作ったり、「水性植物を植栽」し湖山池の浄化を進めている他隣接して流入している大井手川に、ビニール系の大型ごみやペットボトル・空缶を除去するごみスクリーンを考案して設置し、毎日会員が交替で管理に当たっています。一方、自治会員有志による公園ボランティアグループは、公園美化と緑化

活動に積極的に取り組んでおり、昨年は鳥取県主催の「花と緑の街づくりコンクール」に応募し、コミュニティ部門で最優秀賞の栄誉に浴しました。

また、昨年十月には湖山池公園にあるログハウスで、「美しい湖山池と汚れた湖山池」をテーマとした写真展を開催しました。重要湖沼の一つ湖山池を広く知っていたくのが目的でした。地域住民を中心に手持ちの写真を集め、多くの写真を展示することができ、また、町内外より二〇〇余名もの来訪者があり、盛會裡に終了することができました。

直面している問題には、養鶏場（鳥取レイクファーム）からの悪臭があります。季節にもよりますが、窓が開けられない状況で、中には一時避難する人もあると聞いています。署名運動などして行政に陳情して参りましたが、未だ解決に至っていないのが現状です。住民の生活環境保護の立場から、何としても解決しなければならぬと鋭意努力をしています。

その他、環境美化関連事業として、町内各所に手作りの焼杉プランターを設置し、花いっぱい運動も実施しています。六月には県の環境デーに合わせ、衛生研究所から講師をお招きし、「湖山池の水質の現状」と題してセミナーを開催しました。

湖山池の水が入れ替るのに九十九日を要すること、湖山池にコーヒーカープ一杯分を流すと浄化するのに、風呂桶四・

汗を流して作ったピオトープ小学生も大満足



一杯分の水が必要なことなど、研究員の方々の興味深い講義にすっかり心を引きつけられる有意義な研修会となりました。本年度は、「水質浄化作用のある植物繁殖筏」による水質浄化活動に挑戦中です。

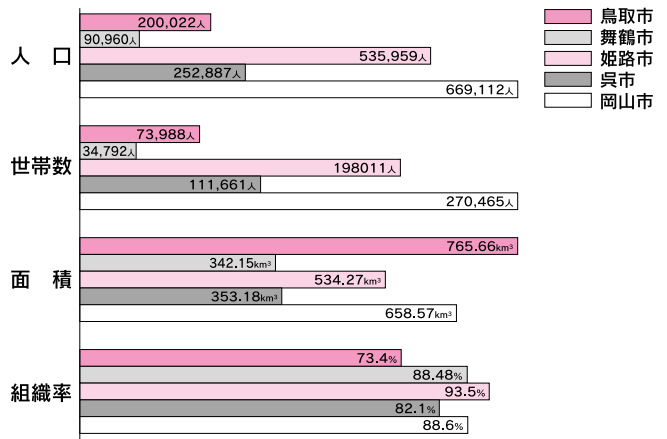
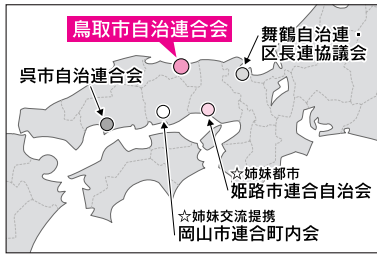
我がまち山王団地に花を



最優秀賞 花と緑の街づくり 知事賞受賞



県外の自治活動の紹介



事業計画

岡山市	呉市	姫路市	舞鶴市	鳥取市
<ul style="list-style-type: none"> まちづくりへの支援 視察研修の実施 市幹部・市長との懇談 県知事・総務大臣との懇談 産官学との交流・連携ほか 	<ul style="list-style-type: none"> 人権問題講演会及び研修会の開催 調査研究の実施 市の業務に協力 献血や社会福祉協議会等の事業に協力 防犯・青少年非行防止・交通安全運動の推進 緑化推進運動に協力 	<ul style="list-style-type: none"> 各地区連合自治会及び各町自治会相互の連絡及び調整 市政の公正な運営への協力及び参画 機関紙の発行 その他、目的を達成するために必要な事業 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーの資質向上を目指した研修会 協議会下部組織への連絡・調整・指示等の徹底 市の出前口座等の積極活用 市民運動(会議)等への参加 時世を捉えた緊急アピールの発令 市社会福祉協議会との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり運動の推進 市民運動の推進 地区要望の実現 会員相互の連絡調整 町内会の育成 調査・研究・研修等 機関紙の発行 ホームページ公開

自治会等の運営等

岡山市	呉市	姫路市	舞鶴市	鳥取市
<ul style="list-style-type: none"> 総会(毎年5月) 事業・決算の承認、新年度事業・予算の承認 諸会議 理事会(随時) 常任理事会(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 総会 年1回開催 事業計画・報告、予算及び決算等を審議承認する。 諸会議 理事会(毎月1回) 常任委員会(随時) 正副会長会議(毎月1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 代表者会(毎年3月) 次年度の活動方針、事業計画の承認 代表者会(5月) 事業、収支決算の承認、新年度予算の承認 会議 代表者会(年3回) 幹事会(随時) 正副会長会(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 総会(毎年5月初旬) 諸会議 正副会長(随時) 理事会(年2、3回) 会長研修会(年2回程度) 	<ul style="list-style-type: none"> 総会(毎年5月) 事業・決算の承認、新年度事業・予算の承認 諸会議 地区会長会(年6回) 役員会(随時) 正副会長会(随時) 各種委員会(随時)

遷喬地区 協働による自治会活動

遷喬地区
会長 梶村徳太郎

私達が取り組んでいる自治会活動と最近よく聞く「協働」との関係を考えながらの自問自答「自治会活動とは？」に返ってくる答は一口で言うと、「自分達の生活している町を今より更に住みよい、安全で安心な町にするための活動」に尽きると思います。

その活動を具現化する手法として「協働」の発想があります。今、私達の遷喬地区自治連合会が「中心市街地の活性化」を念頭において取り組んでいる自治会活動の手法こそが「協働」であると云ってよい。

具体的には、遷喬地区内の色々特徴のある目的のもとに組織されている各種任意団体との間にネットワークを構築し、お互いの団体の立場や特徴を認め合い、尊重し合う雰囲気や地域全体に醸成することを出発点にします。

「中心市街地の活性化」を地域全体で共有する課題・目的に据えて、お互いが対等の立場で活動を分担し、住民中心の自治会活動を実践している。と自負できる成果を夢見ながら協力し合っています。

浜坂団地町内会 連帯と共助の心を育む町内活動

浜坂団地町内会
会長 中尾啓介

当町内会の最重要課題は、「会員同士が仲良く、笑顔で、気軽に声をかけ合い、話し合える、連帯感のあるまちづくり」です。このテーマを推進するために、「浜坂まつり」と「安全と共助の会」の事業を実施しています。

浜坂まつり

「町に賑わいを」子ども達にふる里をを合言葉に、町内会最大のイベントとして、平成七年に「第一回浜坂まつり」を実施して以来、豊かな町づくりに向けて毎年十月に実施しています。

「祭りの主役は子ども達、喜び弾けるまちづくり」をテーマに、五月二十八日に「第十二回浜坂まつり」を実施しました。

特に本年度は発想を転換し、子ども達一人ひとりの持つ豊かな感性と行動力に期待し、企画の段階から参加させプログラムを構成しました。子ども達を主役にすることでその家族の祭りへの参加に期待したのです。結果は、例年を遥かに凌駕する参加者で賑わい、実行委員の児童も見事に役割を果たしてくれ、地域が育てる子ども達の澆刺とした姿に触れることができました。

安全と共助の会

当町内会は、平成元年に防災規約をつ

くり、平成五年には防災組織ができました。その後活動もなく形骸化して、緊急時に機能しないのではとの危惧の念をもっていました。平成七年に阪神大震災が発生、死者は六、四〇〇余名。日本の防災体制・危機管理のずさんさを露呈しました。

この大震災で八〇%の尊い人命を救ったのは、近所に住んでいる人、町内会の人達の献身的な活動だったことを忘れてはなりません。私たち町内会もこの教訓を生かすべく、自主防災組織を根本から見直し、緊急時に機能する組織づくりを取り組むことを決意しました。組織の主体は、町内会を構成する二五の各班単位、*「遠くの親戚より近くの他人」*、向こう三軒両隣の気持ちを大切にした共助の精神を養うのが、私どもの「安全と共助の会」です。

米里地区 自治会活動の現状

米里地区
会長 渡邊勤治郎

米里地区は、在来の農村部八集落（二六四戸）と、米里校区として造成された雲山住宅団地の三町内会（約七五〇戸）で構成され、全人口は現在三、〇〇〇人を超え、村と街が共存し交流を深めな

がら発展をつづけている地区です。

また、昔から米がよく穫れたことから「米里」と命名されたと言われ、一面に広がる田畑は一八〇haにも及び、市街地の近郊に有りながら開発の波に飲まれません。今日まで農地として守り継がれています。その中心部に地区公民館・小学校・地区体育館等があり、南北五kmの地区で交通に不便を感じるものの、広大な平野の中で四季の移ろいが楽しめる文教地区として最適な立地だと思っています。

地区の自治活動は、従来一年交替の区長会により諸事業等が企画・実施されたため、前年並といったマンネリ化の傾向が強く、ことに地区要望については、要望書を提出した区長が一年で交替するたため、単発的で継続折衝が出来ず、そのうえ事務の殆どは地区公民館に依存し、運営についても公民館の指導なくしては立ち行かない状況でした。

この体質を改め、自立可能な組織を築くため、平成十五年四月に会則を改正し、従来の区長会・各種団体連絡協議会等を一体化した米里地区自治会と改称して再出発しました。

米里には一一の地区と一九の団体がある。発足した自治会はこの全てを統括し、その取りまとめと財源助成を行うほか、諸行事の企画運営について団体間の調整、各種行事実行委員会の設置・運営・関係機関等の渉外活動、等を役割としています。

ちょっと一言

明治地区
会長 山脇哲也

最近、天気の良い週末には、年輩の方とか家族連れで田舎（特に中山間地域）の農林道に車を止め、わらび、ふき、うど、竹の子等の山菜採りを楽しむ都市在住の人が目につきます。

これらの山菜は自然に発生したものではありません。多少の採取は見逃せいで、各集落の立看板には目も向けな持参し本格的な人達も見受けられ、マナーの低さ無神経さに心が痛みます。

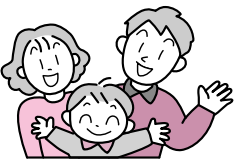
都市住民と田舎住民の交流が見直され、一部地区同士ではすでに活動されており。私は、人生とは、人間と人間との「ふれあい」でありそれ以外の何ものでもないという哲学をもって今日まで生きて来ました。「モノ・カネ中心主義」ではなく、人とのコミュニケーションに注目すれば、明るい未来が待っています。数々の課題はありますが、自治連活動もその一つと思っており、そして何事にも「いい加減」でなく、「よい加減」が図れる自治連であってほしいものです。

編集後記

自治連合会各位のご理解とご協力により、待望の『自治連だより』創刊号が誕生いたしました。今回は、市街地と周辺地区自治会活動の現状と、県外の自治会の状況を中心に編集しました。

今後は、さらにそれぞれの地域（市街地・中間地・山間地）の特色ある自治会動を紹介したいと思っておりますが、地区会長や広報委員会でよく協議し、一層の内容充実に努めたいと思います。

末尾となりましたが多忙の中玉稿をお寄せくださった各位に深謝すると同時に、編集に携わった委員並びに事務局の皆様



- ◎総合的な地域防災対策の検討及び組織体制の確立
- ◎世代を超えた賑わいのある地域交流の推進
- ◎地域諸団体の連携強化及び地域リーダーの育成推進